

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公表番号】特表 2002-527601 (P2002-527601A)  
 【公表日】平成 14 年 8 月 27 日 (2002.8.27)  
 【出願番号】特願 2000-577256 (P2000-577256)  
 【国際特許分類】

**C 1 0 L 1/224 (2006.01)**

**B 0 1 D 19/04 (2006.01)**

**B 0 1 F 17/16 (2006.01)**

【F I】

C 1 0 L 1/22 C

B 0 1 D 19/04 B

B 0 1 F 17/16

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 16 日 (2006.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

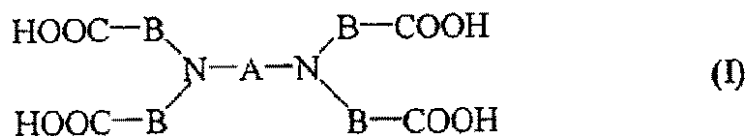
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (a) 少なくとも 1 つの第三アミノ基を有するポリ (C<sub>2</sub> - 20 - カルボン酸) と第二アミンとの少なくとも 1 つの反応生成物 5 ~ 95 質量% 及び  
 (b) 無水マレイン酸及び第一アルキルアミンからの少なくとも 1 つの反応生成物 5 ~ 95 質量%  
 を含有している、混合物。

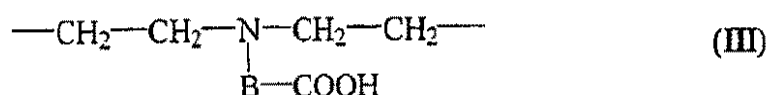
【請求項 2】 少なくとも 1 つの第三アミノ基を有するポリ (C<sub>2</sub> - 20 - カルボン酸) が、次の式 I 又は I I

【化 1】



[ 式中、A は直鎖又は分枝鎖の C<sub>2</sub> - 6 - アルキレン基又は式 I I I

【化 2】



の基を表し、Bは $C_{1-19}$ -アルキレン基である]で示されるものである、請求項1記載の混合物。

【請求項3】 反応生成物(a)が、アミド、アミドアンモニウム塩又はアンモニウム塩であり、これらの中でカルボン酸基がアミド基に変換されていないか、又は1つ又は複数のカルボン酸基がアミド基に変換されている、請求項1又は2記載の混合物。

【請求項4】 成分(a)の第二アミンが、式 $HNR_2$ で示されるものであり、その際、基Rは直鎖又は分枝鎖の $C_{10-30}$ -アルキル基である、請求項1から3までのいずれか1項記載の混合物。

【請求項5】 成分(b)の第一アルキルアミンが、 $C_{8-30}$ -アルキルアミンである、請求項1から4までのいずれか1項記載の混合物。

【請求項6】 請求項1から5までのいずれか1項記載の混合物を含有している、石油中間留出物。

【請求項7】 更に、流動性改善剤、伝導度改善剤、腐食防止剤、潤滑添加物、酸化防止剤、金属不活性剤、消泡剤、抗乳化剤、清浄剤、セタン価向上剤、染料又は香料、又はその混合物を含有している、請求項6記載の石油中間留出物。

【請求項8】 炭化水素溶剤中に溶解した、請求項1から5までのいずれか1項記載の混合物を、濃縮物の全量に対して10～60質量%含有している、濃縮物。

【請求項9】 付加的に、エチレン/ビニルカルボキシレート-コポリマーをベースとする流動改善剤を含有している、請求項6記載の鉱油中間留出物。